



# FY2022 決算説明会

2023年5月15日  
パーソルホールディングス

1

## FY2022\* 決算概要（日本基準）

- 売上高1兆2,239億円（前期比+15.4%）、営業利益530億円（同+10.2%）と大きく成長
- 配当のベースとなる調整後当期純利益は409億円（同+3.7%）
- 年間配当は前期42円から61円に増配、配当性向は前期約25%から約35%に  
また、2023年3月末までに約100億円の自己株式を取得、同年4月に全株消却を完了

2

## セグメント変更、IFRS導入

- FY2023から新たにBPO SBUを設置するなどSBU体制を一部変更
- IFRSをFY2023Q1より適用

3

## FY2023\* 業績予想、中期経営計画2026策定（IFRS）

- FY2023業績予想は、売上収益1兆3,400億円（前期比+7.8%）、調整後EBITDA755億円
- 年間配当見通しは86円（前期比+25円）、配当性向見通しは約50%
- 中期経営計画2026（期間：2023年4月～2026年3月）を策定

# FY2022 決算概要

# FY2022 決算概要（連結）

## 売上高・営業利益ともに大きく成長

	FY2021 実績	FY2022 実績	前期比	FY2022業績予想 (2023年4月発表)
(単位：百万円)				
売上高	1,060,893	<b>1,223,967</b>	+15.4%	1,210,000
営業利益	48,143	<b>53,061</b>	+10.2%	53,000
営業利益率 (%)	4.5%	<b>4.3%</b>	△0.2pt	4.4%
EBITDA	67,150	<b>76,417</b>	+13.8%	75,200
EBITDA Margin (%)	6.3%	<b>6.2%</b>	△0.1pt	6.2%
税金等調整前当期純利益	50,043	<b>40,716</b>	△18.6%	-
当期純利益*	31,906	<b>20,578</b>	△35.5%	20,400
(調整項目等)	7,622	<b>20,416</b>	+167.8%	20,600
調整後当期純利益	39,529	<b>40,995</b>	+3.7%	41,000
調整後EPS (円)	171.60	<b>178.51</b>	+4.0%	178.36

主に特別損益、  
のれん償却

注1. FY2021第3四半期にAPAC SBUの豪州事業においてSaaSの会計処理を変更したため、FY2021上期の業績に遡及適用しております（以下同じ）


注2. FY2022第1四半期より、資産除去債務の会計処理を変更したため、FY2021の業績に遡及適用しております（以下同じ）

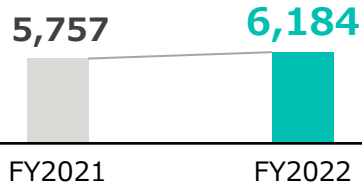
\* 親会社株主に帰属する当期純利益

# FY2022 SBU別売上高

(単位：億円)

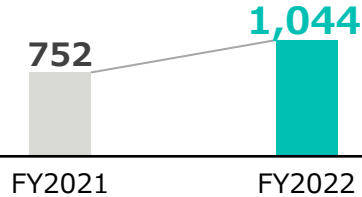
## Staffing

+7.4% 



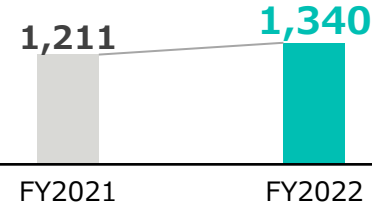
## Career

+38.8% 




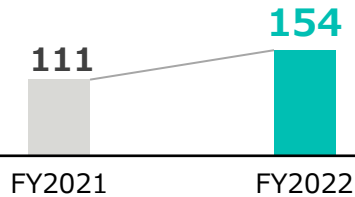
## Professional Outsourcing

+10.7% 



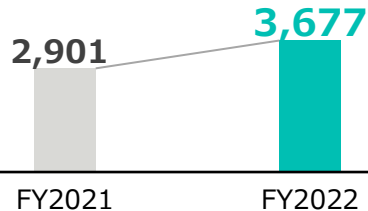
## Solution

+38.2% 



## Asia Pacific

+26.8% 


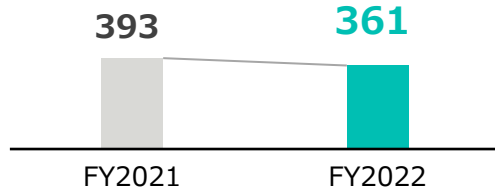


全てのSBUで  
売上成長実現

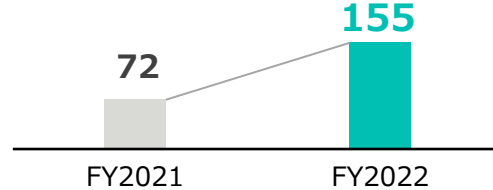
# FY2022 SBU別営業利益

(単位：億円)

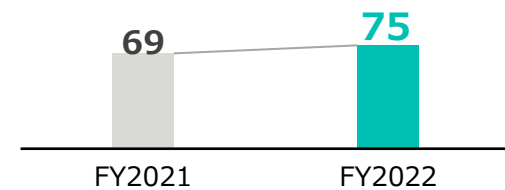
## Staffing

 △ **8.1%** 


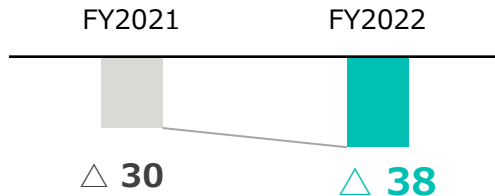
## Career

**+113.8%** 


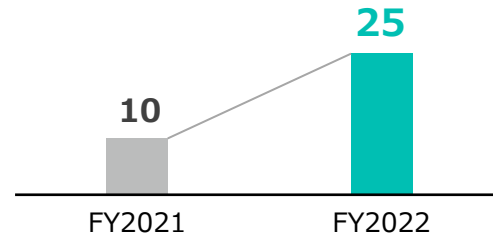
## Professional Outsourcing

**+8.4%** 


## Solution

**投資継続** 


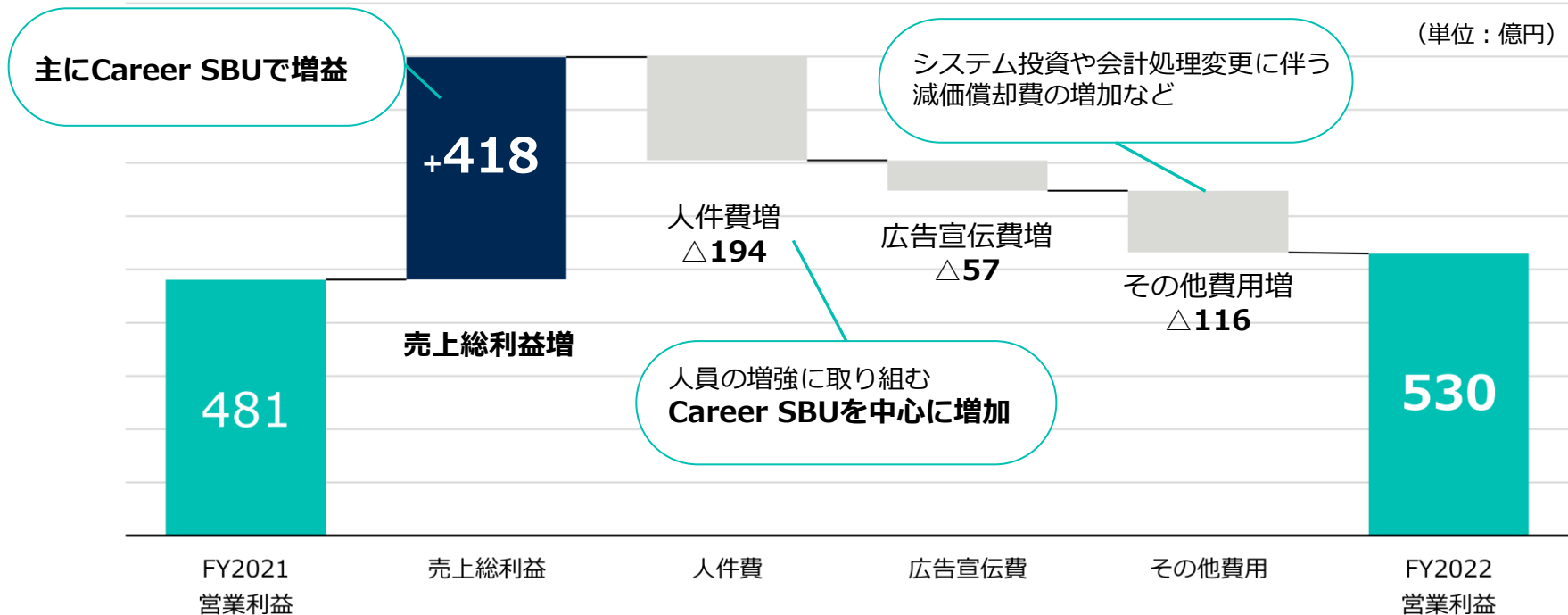
## Asia Pacific

**+141.5%** 


年度を通して、成長率の高い  
Careerが増益牽引

# FY2022 営業利益の増減分析

売上総利益の成長は堅調、  
人件費、広告費など成長に向けた競争力強化も継続



# (参考) FY2022 SBU別 売上高

(単位：百万円)

	FY2021 実績	FY2022 実績	前期比	FY2022業績予想 (2022年11月発表*1)
連結	1,060,893	<b>1,223,967</b>	+15.4%	1,210,000
Staffing	575,743	<b>618,481</b>	+7.4%	615,000
Career	75,279	<b>104,467</b>	+38.8%	103,000
Professional Outsourcing	121,109	<b>134,085</b>	+10.7%	133,500
Solution	11,169	<b>15,434</b>	+38.2%	15,500
Asia Pacific*2	290,138	<b>367,779</b>	+26.8%	360,000
その他	13,755	<b>16,904</b>	+22.9%	16,000
調整	△26,302	△ <b>33,186</b>	-	△33,000

\*1 最新の業績予想は2023年4月に発表したものの、売上高は2022年11月発表の内容から変更していない為、当該数値を記載しております。

\*2 為替レート 【米ドル (PERSOLKELLY) 】 FY2021 : 109.9円、FY2022 : 131.6円 【豪ドル (Programmed) 】 FY2021 : 82.5円、FY2022 : 91.1円



# (参考) FY2022 SBU別 営業利益および営業利益率

(単位：百万円)

	FY2021 実績	FY2022 実績	前期比	FY2022業績予想 (2022年11月発表*1)
連結	48,143	<b>53,061</b>	+10.2%	53,000
	4.5%	<b>4.3%</b>	△0.2pt	4.4%
Staffing	39,359	<b>36,180</b>	△8.1%	36,600
	6.8%	<b>5.8%</b>	△1.0pt	6.0%
Career	7,264	<b>15,532</b>	+113.8%	15,200
	9.6%	<b>14.9%</b>	+5.2pt	14.8%
Professional Outsourcing	6,934	<b>7,518</b>	+8.4%	8,000
	5.7%	<b>5.6%</b>	△0.1pt	6.0%
Solution	△3,058	△ <b>3,837</b>	-	△3,950
	△27.4%	△ <b>24.9%</b>	+2.5pt	△25.5%
Asia Pacific*2	1,042	<b>2,517</b>	+141.5%	1,850
	0.4%	<b>0.7%</b>	+0.3pt	0.5%
その他	△801	△ <b>708</b>	-	△600
調整	△2,598	△ <b>4,140</b>	-	△4,100

\*1 最新の業績予想は2023年4月に発表したものの、営業利益は2022年11月発表の内容から変更していない為、当該数値を記載しております。

\*2 為替レート 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2021：109.9円、FY2022：131.6円 【豪ドル (Programmed)】 FY2021：82.5円、FY2022：91.1円

# (参考) FY2022 SBU別 EBITDAおよびEBITDA Margin

(単位：百万円)

	FY2021 実績	FY2022 実績	前期比	FY2022業績予想 (2022年11月発表*1)
連結	67,150	<b>76,417</b>	+13.8%	75,200
	6.3%	<b>6.2%</b>	△0.1pt	6.2%
Staffing	43,354	<b>41,004</b>	△5.4%	41,100
	7.5%	<b>6.6%</b>	△0.9pt	6.7%
Career	11,034	<b>19,913</b>	+80.5%	19,600
	14.7%	<b>19.1%</b>	+4.4pt	19.0%
Professional Outsourcing	8,453	<b>9,320</b>	+10.3%	9,800
	7.0%	<b>7.0%</b>	+0.0pt	7.3%
Solution	△1,513	△ <b>1,965</b>	-	△2,100
	△13.5%	△ <b>12.7%</b>	+0.8pt	△13.5%
Asia Pacific*2	7,691	<b>10,149</b>	+32.0%	9,400
	2.7%	<b>2.8%</b>	+0.1pt	2.6%
その他	△344	△ <b>2</b>	-	△0
調整	△1,524	△ <b>2,002</b>	-	△2,600

\*1 最新の業績予想は2023年4月に発表したものの、EBITDAは2022年11月発表の内容から変更していない為、当該数値を記載しております。

\*2 為替レート 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2021：109.9円、FY2022：131.6円 【豪ドル (Programmed)】 FY2021：82.5円、FY2022：91.1円



# FY2022 連結貸借対照表

強固な財務基盤を保ち、長期発行体格付 A (ポジティブ)を継続

(単位：百万円)

	FY2021 実績	FY2022 実績	増減額
<b>流動資産</b>	286,897	<b>304,281</b>	<u>+17,384</u>
(主な内訳)			
現金及び預金	107,545	<b>99,757</b>	△ 7,788
売掛金	150,073	<b>160,879</b>	+10,806
<b>固定資産</b>	138,213	<b>137,877</b>	△336
(主な内訳)			
のれん	61,674	<b>52,344</b>	△9,329
ソフトウェア	16,787	<b>18,081</b>	+1,293
投資その他の資産	29,670	<b>36,707</b>	+7,037
<b>資産合計</b>	425,110	<b>442,159</b>	<u>+17,048</u>

	FY2021 実績	FY2022 実績	増減額
<b>流動負債</b>	167,893	<b>195,421</b>	<u>+27,527</u>
(主な内訳)			
借入金	11,466	<b>11,422</b>	△44
未払金	81,813	<b>91,934</b>	+10,121
<b>固定負債</b>	52,850	<b>46,005</b>	△ 6,844
(主な内訳)			
社債・借入金	40,000	<b>30,116</b>	△9,883
<b>負債合計</b>	220,743	<b>241,426</b>	<u>+20,683</u>
<b>純資産</b>	204,367	<b>200,732</b>	△ 3,634
<b>負債・純資産合計</b>	425,110	<b>442,159</b>	<u>+17,048</u>

# のれん残高

(単位：百万円)

SBU	FY2022期末
Staffing SBU	7,216
Career SBU	15,192
Professional Outsourcing SBU	6,539
Asia Pacific SBU	21,930
PERSOLKELLY	1,445
Programmed Staffing	5,407
Programmed Property Services	1,281
Programmed Facility Management	10,871
Programmed Others	1,087
その他	1,835
上記SBU以外	1,464
合計	52,344

- Programmed社 Maintenance事業の注力領域を明確にしたことにより減損テストの評価単位を Facility Managementと Property Servicesに区分
- 2023年4月11日開示の減損損失により、Property Servicesののれん残高は約83億円減少

# FY2022 連結キャッシュ・フロー計算書

投資キャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出等により、前期比で支出が増加

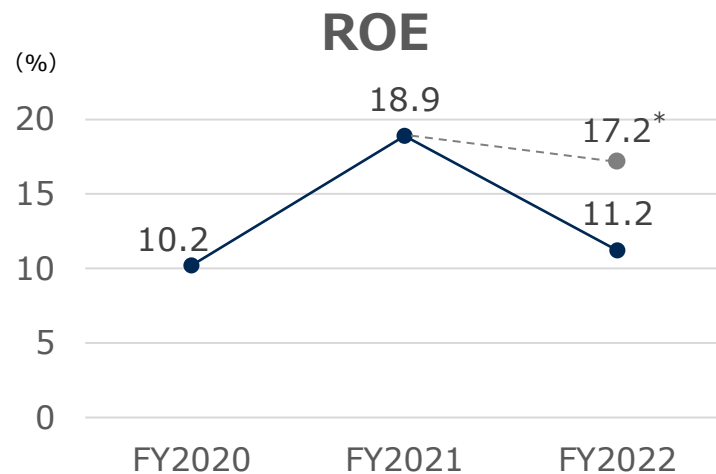
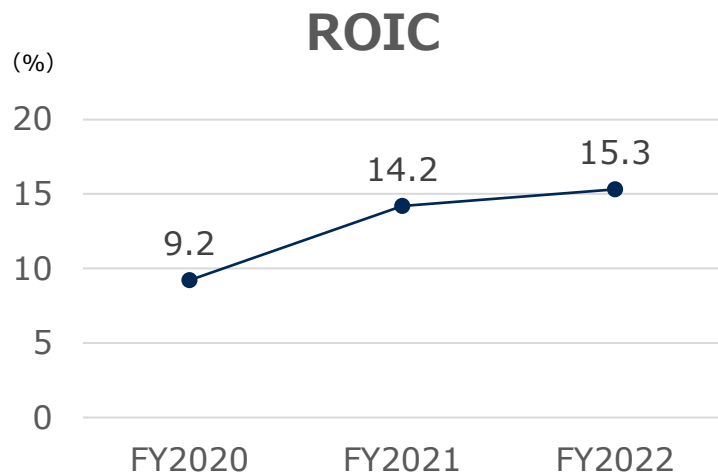
フリーキャッシュ・フローは、投資キャッシュ・フローの増加が営業キャッシュ・フローの増加を上回り、前期比減少

(単位：百万円)

	FY2021 実績	FY2022 実績	増減額
営業キャッシュ・フロー	50,692	<b>52,796</b>	+2,103
投資キャッシュ・フロー	△7,057	△ <b>22,504</b>	△15,446
フリーキャッシュ・フロー (FCF)	43,634	<b>30,291</b>	△13,343
財務キャッシュ・フロー	△21,145	△ <b>38,268</b>	△17,123
現金及び現金同等物の期末残高	106,558	<b>99,658</b>	△6,899



# 資本効率性指標：ROICおよびROEの推移



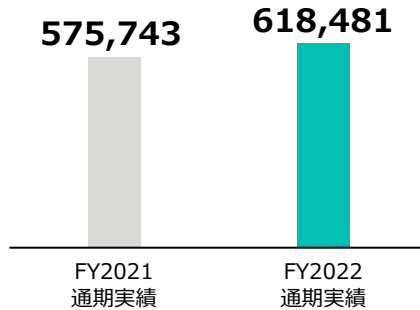
# FY2022 SBU別決算概要

# SBU別決算概要 –Staffing SBU–

売上高は+7.4%の増収、売上総利益も順調に増益。

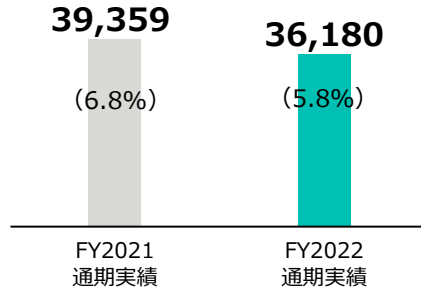
営業利益は、COVID-19関連案件の減少（△35億円、一時的要因）と社会保険料法改正に関連する影響（△20億円）等で減益

売上高  
(単位：百万円) **+7.4%**



営業利益 **△8.1%**

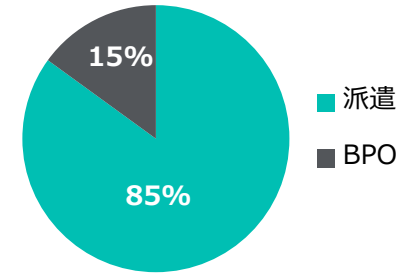
COVID-19関連案件減少影響 △35億円



\*カッコ内の%は営業利益率

売上構成比

FY2022



## 四半期（2023年1～3月）コメント

### 派遣

企業の派遣需要は堅調。稼働者数は過去最高。

- 受注数：前年同期比0.2%増加（主にCOVID-19関連による影響）
- 確定数：前年同期比△2.8%減少（主にCOVID-19関連による影響）
- 終了数：稼働者数に対する終了者数の割合はCOVID-19前と概ね同水準で推移

### BPO

通常案件の受注は順調に推移

COVID-19関連の受注が前年同期比で大幅に減少（YoY△57%）

### 売上増減分析

#### ①派遣：7.6%の増収

稼働者数：+7.8% 単価：+1.2% 稼働時間（スタッフ当たり）等：△3.1%  
稼働日：+1.7%（前年同期比1営業日減少）

#### ②BPO：△12.3%の減収


COVID-19関連を除く売上の増収率は、+15%

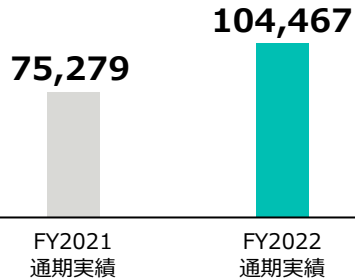


# SBU別決算概要 –Career SBU–

(単位：百万円)

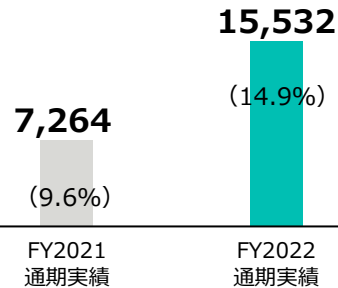
売上高

+38.8% 



営業利益

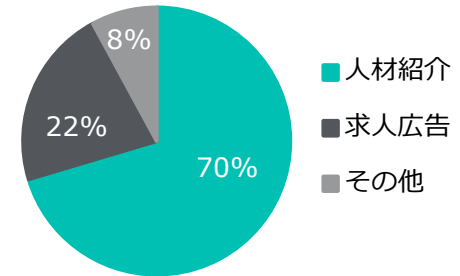
+113.8% 



\*カッコ内の%は営業利益率

売上構成比

FY2022



## 四半期（2023年1~3月）コメント

### 人材紹介

- 前年同期比 40%台後半の増収
- CA（Career Advisor）の採用も順調に推移

### 転職市場の市況

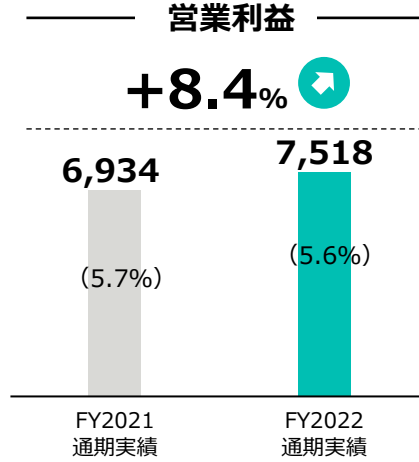
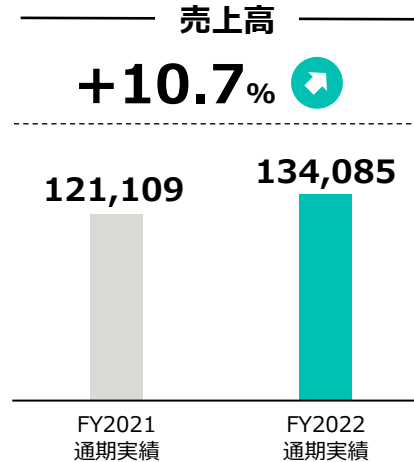
- 市場全体として引続き活況
- 引き続きサービス業（特にホテルや観光）の需要が旺盛
- 国際情勢、資源高、信用不安などのマクロ影響については、現時点で顕著な兆しは表れていない

### 求人広告

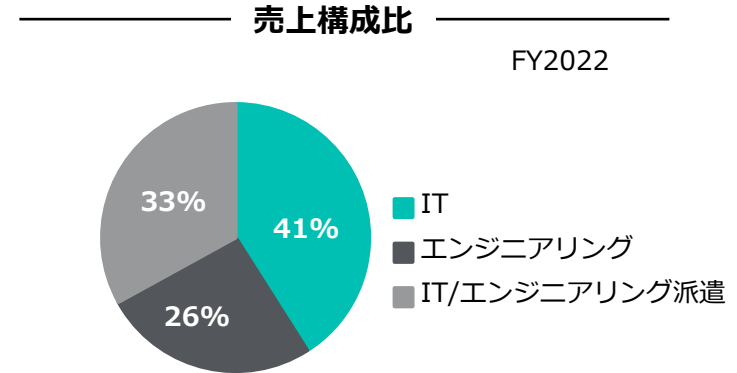
- 前年同期比 30%強増収

# SBU別決算概要 –Professional Outsourcing SBU–

(単位：百万円)



\*カッコ内の%は営業利益率



## 四半期（2023年1~3月）コメント

### IT

- 需要は引き続き高く9%増収
- 稼働率：約95%
- エンジニア数：約5,200名（前年同期比+9.4%）

### IT/エンジニアリング派遣

- IT領域、エンジニアリング領域共に順調であり8%増収
- 稼働技術者数\*：約6,300名（前年同期比+5.1%）

### エンジニアリング

- 需要は好調であり10%増収
- 稼働率：約96%
- エンジニア数：約3,500名（前年同期比+7.4%）

### エンジニアの採用状況（SBU全体）

- 獲得競争は過熱化しているものの採用強化でエンジニア数は前年比131%に

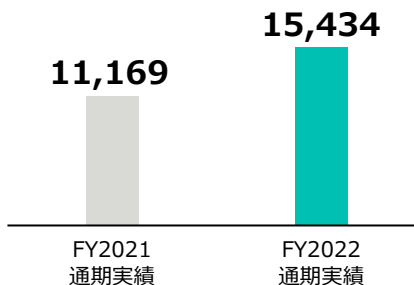
\*稼働技術者数は登録型エンジニアを含む

# SBU別決算概要 –Solution SBU–


(単位：百万円)

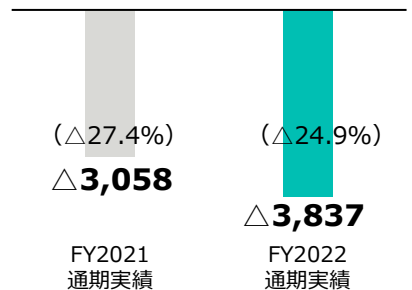
売上高

+38.2% 



営業損益

- % 



\*カッコ内の%は営業利益率

主なサービス内容

■ 転職アプリ「ミイダス」

独自の「可能性診断」によって、活躍できる可能性の高い会社からスカウトが届く日本初※の転職アプリ

※日本初とはバイアス診断ゲームとコンピテンシー診断を使って人材の採用と配置・育成を可能にする無料のスマホアプリ診断サービス (ESP総研調べ)

■ クラウドPOS「POS+」

飲食店・小売店を中心にクラウドPOSレジを提供。店舗の業務効率化と売上アップを支援

## 四半期 (2023年1~3月) コメント

### ミイダス

- 前年同期比で増収
- 累計アカウント企業数は、中小企業を中心に伸長し、前年同期比で約1.2倍に拡大

### POS+ (ポスタス)

- 飲食や小売、理美容のほか公共案件の受注も拡大し、前年同期比で増収
- 累計導入店舗数は、営業体制強化により前年同期比で約1.2倍に拡大

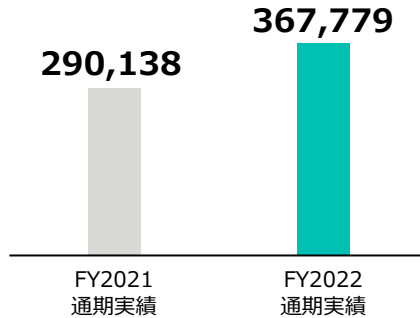
# SBU別決算概要 –Asia Pacific SBU–

※現地Q4累計（2022年1月～12月）の実績値

（単位：百万円）

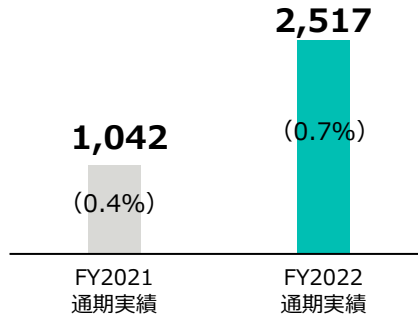
## 売上高

+26.8% 



## 営業利益

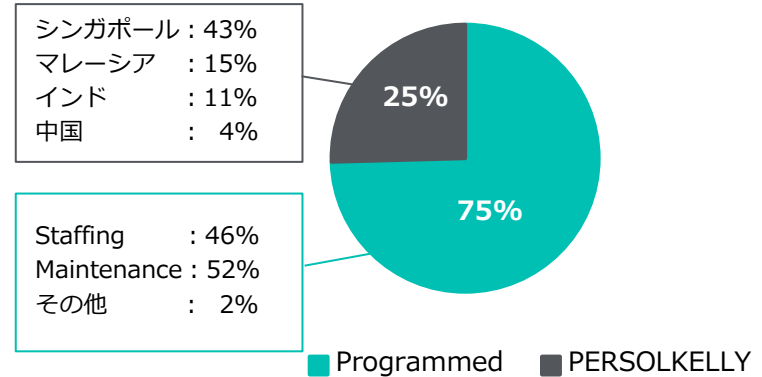
+141.5% 



\*カッコ内の%は営業利益率

## 売上構成比

FY2022



## 四半期（2022年10～12月）コメント

### PERSOLKELLY

- 人材紹介事業の堅調な成長に加え、為替影響もあり16.4%の増収
- 中国でCOVID-19に係る政策の影響を受ける一方、新興国での高い成長により増益

### Programmed

- Maintenance事業の高い成長に加え、豪ドル高もあり31.4%の増収
- 増収効果により増益

## 四半期（2023年1～3月）コメント

### SBU全体の状況

- 中国で引き続きCOVID-19に係る政策の影響を受けるも、その他の地域では概ね順調に伸長

注. 為替レート 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2021 : 109.9円、FY2022 : 131.6円 【豪ドル (Programmed)】 FY2021 : 82.5円、FY2022 : 91.1円



# (参考) Asia Pacific SBU業績内訳

Asia Pacific SBUにおける、PERSOLKELLYとProgrammedの内訳は下記のとおり

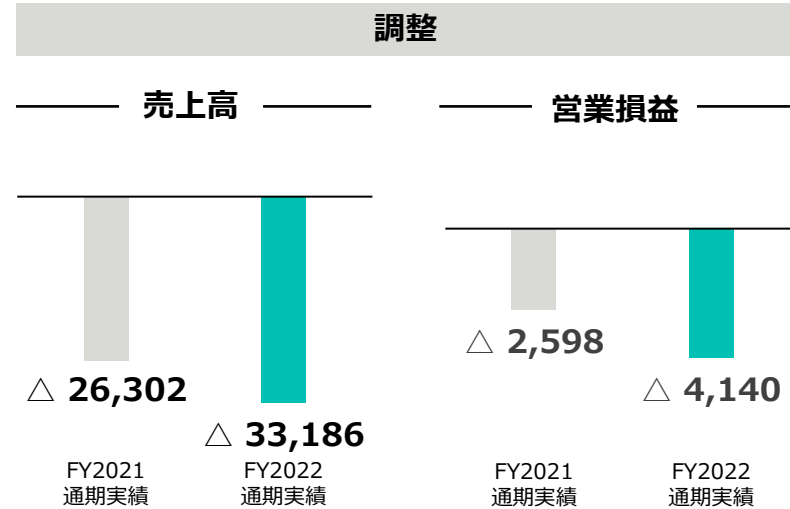
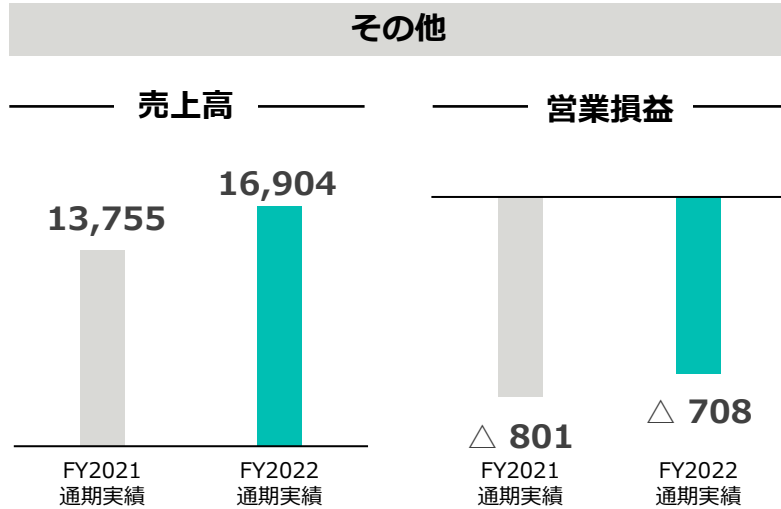
(単位：百万円)

	FY2021 Q4	FY2022 Q4	前年同期比	FY2021 Q1-Q4	FY2022 Q1-Q4	前期比
<b>売上高</b>	77,451	<b>99,020</b>	27.8%	290,138	<b>367,779</b>	26.8%
PERSOLKELLY	20,816	<b>24,231</b>	16.4%	75,398	<b>91,137</b>	20.9%
Programmed	56,634	<b>74,440</b>	31.4%	214,739	<b>276,293</b>	28.7%
<b>営業利益</b>	737	<b>1,705</b>	131.3%	1,042	<b>2,517</b>	141.5%
PERSOLKELLY	148	<b>390</b>	162.9%	977	<b>1,543</b>	57.8%
Programmed	851	<b>1,862</b>	118.8%	667	<b>2,318</b>	247.3%
<b>EBITDA</b>	2,340	<b>3,681</b>	57.3%	7,691	<b>10,149</b>	32.0%
PERSOLKELLY	317	<b>589</b>	85.7%	1,651	<b>2,253</b>	36.5%
Programmed	2,281	<b>3,629</b>	59.1%	6,633	<b>9,218</b>	39.0%

- 注1. 当SBUは、「PERSOLKELLY」「Programmed」の他に、事業を管掌する本部機能等で構成されております。上記内訳において、当該本部機能等の実績は省略しており、合計は一致しません。  
 2. 為替レート 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2021：109.9円、FY2022：131.6円 【豪ドル (Programmed)】 FY2021：82.5円、FY2022：91.1円  
 3. FY2022 Q4及び通期の業績は、現地Q4（2022年10月～12月）及び通期（2022年1月～12月）の実績値であり、FY2021Q4及び通期の業績は前期の現地Q4（2021年10～12月）及びQ4累計（2021年1月～12月）の実績値となります。いずれも日本会計基準ベースで算出しております。

# SBU別決算概要 –その他・調整–

(単位：百万円)



## 四半期（2023年1～3月）コメント

- 売上高は、特例子会社における障害者雇用事業のグループ内取引が増加した結果、前年同期比で増収
- 損益面は、上記増収効果はあるものの、主に人件費の増加により赤字幅拡大

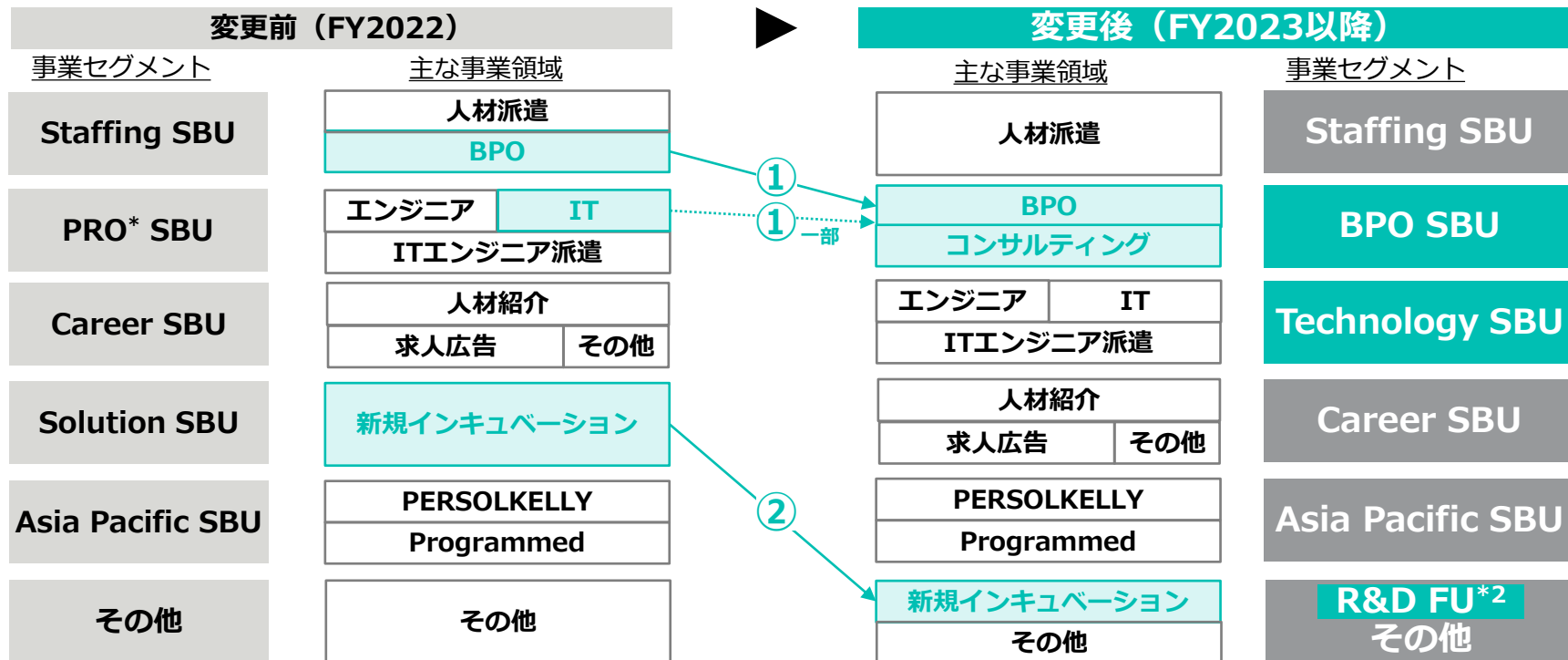
## 四半期（2023年1～3月）コメント

- 主にコーポレート施策等の業務委託費や、会計処理変更に伴う償却費が増加

# セグメントの変更

# セグメントの変更

- 中期経営計画2026の事業戦略に基づき、2023/4/1よりSBU体制を変更
- ①Staffing SBU及びPRO\*<sup>1</sup> SBUからBPO事業を切り出し新SBUとして設置、②Solution SBUをR&D FU\*<sup>2</sup>に変更
- PRO\*<sup>1</sup> SBUをTechnology SBUに改称





# 新SBU体制 (2023/4/1~)



# IFRSへの移行

# IFRSの適用スケジュール

- 国際財務報告基準（IFRS）をFY2023Q1より適用し、グローバル化に対応
- Asia Pacific SBUの決算期をこれまでの12月決算から3月決算に統一  
（連結財務諸表への取込情報が、3か月ずれから同タイミングに変更）

## IFRS任意適用に伴う開示スケジュール（予定）

決算期		開示書類	適用会計基準
FY2022	期末	決算短信	日本基準
		会社法連結計算書類	日本基準
		有価証券報告書	日本基準
FY2023	第1～3四半期	四半期決算短信	IFRS
		四半期報告書	IFRS
		期末	決算短信
		会社法連結計算書類	IFRS
		有価証券報告書	IFRS

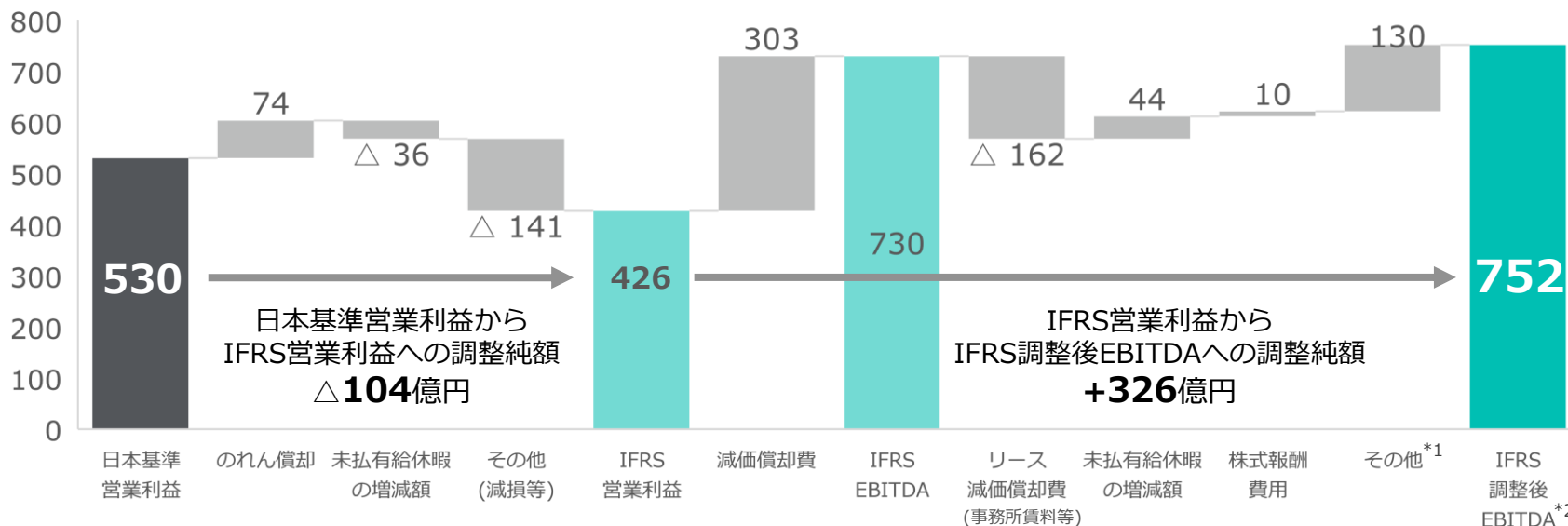
# 営業利益（日本基準）から調整後EBITDA（IFRS）へ

## 営業利益のGAAPブリッジ

のれん償却 : 74億円  
未払有給休暇の増減 : △36億円

## FY2022 ※数値は概算値（未監査）

単位：億円



\*1 その他収益・費用、および、その他恒常的でない損益（減損含む）

\*2 IFRS調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(リース償却除く) ±未払有給休暇の増減額 + 株式報酬費用 ± その他収益・費用 ± その他恒常的でない損益

# FY2023 業績予想（IFRSベース）

# FY2023 通期業績予想（連結）

## 調整後EBITDAを主要な経営指標（KPI）とする

（単位：億円）

	FY2022 実績 <sup>*1</sup>	FY2023 予想	前期比
売上収益	12,426	13,400	+7.8%
営業利益（IFRS）	426	545	+27.7%
調整後EBITDA <sup>*2</sup>	752	755	+0.4%
当期利益 <sup>*3</sup>	235	335	+42.2%
調整後当期利益 <sup>*4</sup>	405	390	△3.9%
調整後EPS <sup>*5</sup> （円）	176.73	171.41	△3.0%
一株当たり配当額（円）	61	86	+25

\*1 概算値（未監査）

\*2 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（リース償却除く） ± 調整項目(1)

調整項目(1)：±未払有給休暇の増減額 + 株式報酬費用 ± その他収益・費用 ± その他恒常的でない損益

\*3 親会社の所有者に帰属する当期利益

\*4 調整後当期利益 = 当期利益 ± 調整項目(2) ± 調整項目(2)の一部に係る税金費用

調整項目(2)：「±未払有給休暇の増減額 + 株式報酬費用 ± 恒常的でない損益 + 企業結合により生じたのれん以外の無形固定資産の償却額」（非支配株主帰属分を含む）

\*5 調整後EPS = 調整後当期利益 / (期中平均発行済株式数 - 期中平均自己株式数)

# FY2023 通期業績予想 (SBU別)

## 売上収益

(単位：億円)

	FY2022 実績*1	FY2023 業績予想	前期比
連結	12,426	13,400	+7.8%
Staffing	5,447	5,970	+9.6%
BPO	1,146	1,040	△9.3%
Technology	935	1,020	+9.0%
Career	1,044	1,370	+31.1%
Asia Pacific*2	3,864	3,990	+3.3%
その他	322	390	+21.1%
調整	△334	△380	—

\*1 概算値 (未監査)

\*2 FY2023の業績予想は決算期変更後の期間(2023年4月~2024年3月)における数値。

為替レート【米ドル(PERSOLKELLY)】 FY2022: 131.6円、FY2023: 130.0円【豪ドル(Programmed)】 FY2022: 91.1円、FY2023: 90.0円

# FY2023 通期業績予想 (SBU別)

## 営業利益および営業利益率

(単位：億円)

	FY2022 実績*1	FY2023 業績予想	前期比
連結	426	545	+27.7%
	3.4%	4.1%	+0.6pt
Staffing	222	268	+20.4%
	4.1%	4.5%	+0.4pt
BPO	147	72	△51.2%
	12.9%	6.9%	△6.0pt
Technology	50	52	+2.7%
	5.4%	5.1%	△0.3pt
Career	168	218	+29.5%
	16.1%	15.9%	△0.2pt
Asia Pacific*2	△44	68	—
	△1.1%	1.7%	+2.8pt
その他	△79	△29	—
調整	△39	△104	—

\*1 概算値 (未監査)

\*2 FY2023の業績予想は決算期変更後の期間(2023年4月~2024年3月)における数値。

為替レート【米ドル(PERSOLKELLY)】 FY2022: 131.6円、FY2023: 130.0円【豪ドル(Programmed)】 FY2022: 91.1円、FY2023: 90.0円



# FY2023 通期業績予想 (SBU別)

## 調整後EBITDAおよび調整後EBITDA Margin

(単位：億円)

	FY2022 実績*1	FY2023 業績予想	前期比
連結	752	755	+0.4%
	6.1%	5.6%	△0.4pt
Staffing	265	311	+17.0%
	4.9%	5.2%	+0.3pt
BPO	174	96	△45.1%
	15.2%	9.2%	△6.0pt
Technology	67	68	+0.7%
	7.2%	6.2%	△0.6pt
Career	201	271	+34.5%
	19.3%	19.8%	+0.5pt
Asia Pacific*2	76	102	+33.2%
	2.0%	2.6%	+0.6%
その他	△14	△6	—
調整	△19	△86	—

\*1 概算値 (未監査)

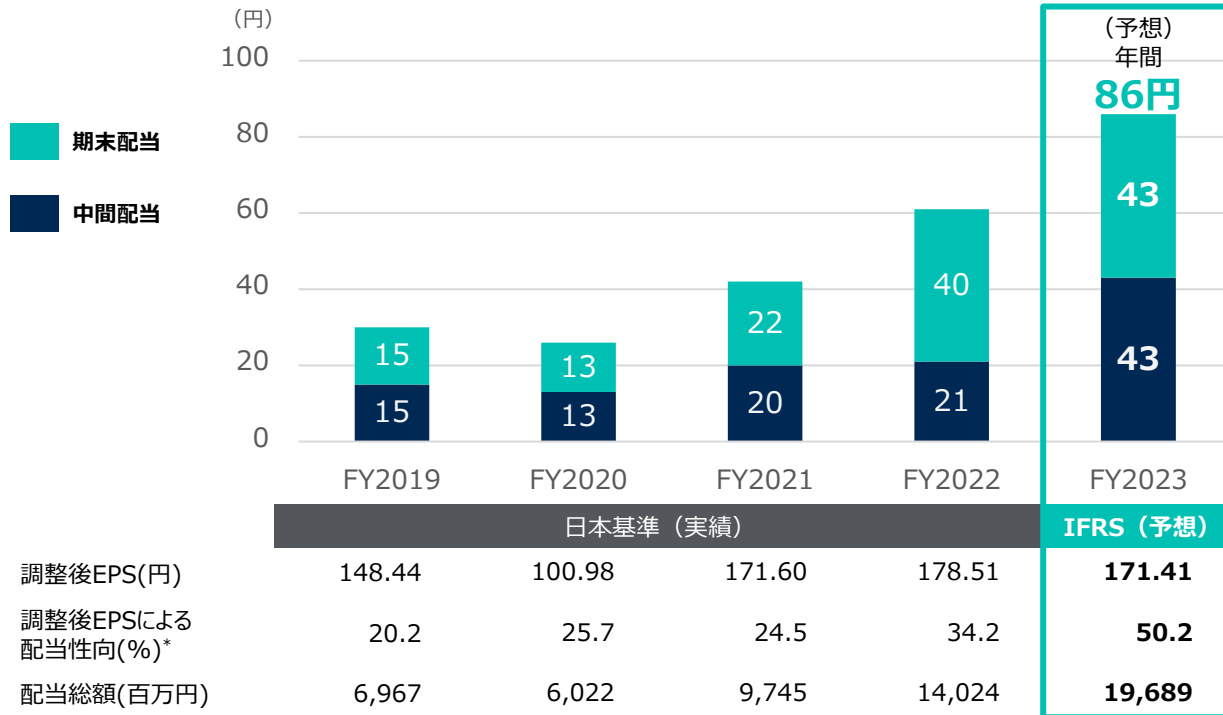
\*2 FY2023の業績予想は決算期変更後の期間(2023年4月~2024年3月)における数値。

為替レート【米ドル(PERSOLKELLY)】 FY2022: 131.6円、FY2023: 130.0円【豪ドル(Programmed)】 FY2022: 91.1円、FY2023: 90.0円



# 1株あたり配当金推移・予想

- FY2022の調整後EPSは178.51円となり、2023年4月公表の配当予想修正（調整後EPSの約25%→約35%）に従い、1株あたり期末配当は期初予想の21円から19円増額の40円（年間配当61円）とする（過去最高）
- FY2023の年間配当予想は、新中計の配当方針（調整後EPSの約50%）に従い、86円の見込み



\*FY2019の配当性向は、基準となる利益を調整後EPSに置き換えて算出

# 調整後EPS（～FY2022 日本基準）

- 中期経営計画2023では、配当性向重視の配当方針へ転換し、配当性向は調整後EPSの約25%とした
- 調整後EPSは、主にのれんの償却額や特別損益等の影響を除外して算出

$$\text{調整後EPS} = \frac{\text{調整後当期純利益}}{\text{期中平均発行済株式数} - \text{期中平均自己株式数}}$$

$$\text{調整後当期純利益} = \text{親会社株主に帰属する当期純利益} \pm \text{調整項目 (非支配株主帰属分を除く)} \pm \text{調整項目の一部にかかる税金費用}$$

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022
親会社株主に帰属する当期純利益	31,906	20,578
調整項目	7,841	21,970
調整項目の一部にかかる税金費用	△218	△1,554
調整後当期純利益	39,529	40,995
株式数（株）*	230,361,358	229,655,261
調整後EPS（円）	171.60	178.51

## 調整項目の内容

- 企業結合により生じたのれん以外の無形固定資産の償却額
- のれんの償却額
- 特別損益

\* 株式数 = 期中平均発行済株式数 - 期中平均自己株式数

# 調整後EBITDA、調整後EPS (FY2023~ IFRS)

- 中期経営計画2026では、調整後EBITDAを主要KPIとし、株主還元強化により配当性向は調整後EPSの約50%とする
- 調整後EPSは、未払有給休暇の増減額や株式報酬費用等の影響を除外して算出

調整後EBITDA	=	営業利益	+	減価償却費 (リース償却除く)	±	調整項目(1)
調整後EPS	=	調整後当期利益	÷	期中平均発行済株式数 - 期中平均自己株式数		
調整後当期利益	=	当期利益	±	調整項目(2)	±	調整項目の一部にかかる 税金費用

(単位：百万円)

	FY2022 (IFRS)
当期利益	23,561
調整項目	20,166
調整項目の一部にかかる税金費用	△3,139
調整後当期利益	40,587
株式数 (株) *	229,655,261
調整後EPS (円)	176.73

## 調整項目(2)の内容

- 未払有給休暇の増減額
- 株式報酬費用
- 恒常的でない損益
- 企業結合により生じたのれん以外の無形固定資産の償却額

\* 非支配株主帰属分を含む

## 調整項目(1)の内容

- 未払有給休暇の増減額
- 株式報酬費用
- その他収益・費用
- その他恒常的でない損益

\* 株式数 = 期中平均発行済株式数 - 期中平均自己株式数

# 中計期間における株主総利回り (2020/4/1~2023/3/31)

株主還元を重視する当社にとって、株主総利回りはトラッキングしている重要指標の1つ  
PERSOLの過去3カ年における株主総利回りは、日経平均やTOPIXよりも**120pt**前後上回る

	日経平均	TOPIX	PERSOL
株価増減率*1	155.2 %	148.3 %	257.9 %
配当利回り*2	-	-	12.5 %
株主総利回り*3	155.2 %	148.3 %	270.5 %

\*1. 株価増減率 = (2023年3月31日時点の株価終値 ÷ 2020年4月1日時点の株価終値) × 100

\*2. 配当利回り = (当該期間の1株当たり配当額の累計額 ÷ 2020年4月1日時点の株価終値) × 100

\*3. 株主総利回り = 株価増減率 + 配当利回り

# 中期経営計画2026

# 中期経営計画2026






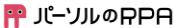


















- 別添資料「中期経営計画2026」ご参照

# Appendix



# 各SBUのビジネス概要

Staffing SBU	BPO SBU	Technology SBU	Career SBU	Asia Pacific SBU
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人材派遣 (事務、研究、臨床開発、販売、軽作業、工場職種等)</li> <li>■ 紹介予定派遣/ 人材紹介</li> <li>■ 業務委託/請負 (臨床開発、販売、軽作業、工場職種)</li> </ul> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 10px; margin-top: 20px;">      </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ BPO (事務、官公庁、採用、営業、デジタルマーケティング、コールセンター、ICT)</li> <li>■ IT・ 業務コンサルティング</li> <li>■ ヘルスケアサービス</li> </ul> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 10px; margin-top: 20px;">      </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ エンジニアリング (設計・実験)</li> <li>■ 人材派遣 (IT・機電エンジニア)</li> </ul> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 10px; margin-top: 20px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人材紹介 (経験者、新卒)</li> <li>■ 転職メディア、 ダイレクトソーシング</li> <li>■ 副業・兼業・フリーラン ス支援</li> <li>■ 再就職支援</li> <li>■ 外国人材就労支援</li> </ul> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 10px; margin-top: 20px;">      </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人材派遣</li> <li>■ 人材紹介</li> <li>■ 設備・施設メンテナンス</li> <li>■ アウトソーシング</li> <li>■ 人事・ 労務コンサルティング</li> <li>■ 教育、研修</li> <li>■ デジタルソリューション</li> <li>■ 訪問介護</li> </ul> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 10px; margin-top: 20px;">       </div>

# サステナビリティに関する取り組み

## 『はたらくWell-being AWARDS 2023 by PERSOL』開催

- 自らのキャリアを主体的に描き、選んで行動した結果、この1年間でもっとも「はたらくWell-being」（はたらくことを通じてその人自身が感じる幸せ）を体現し、その先にある笑顔を社会のチカラに変えた4組5名を3月7日に表彰

詳細は[こちら](#)

## 国際女性デー特別イベント『「はたらく」女性と日本の未来を、本気で考える』開催

- 3月の国際女性デーを機に、女性活躍推進をはじめとした、あらゆる個人の「はたらき方」について考える、特別オンラインイベント『「はたらく」女性と日本の未来を、本気で考える』を開催。3月13日～14日に有識者の方々とさまざまなテーマで議論

詳細は[こちら](#)

# 事業トピックス：Staffing SBU

2023年5月24日、パーソルテンプスタッフは創立50周年を迎えます



生き生きと  
働くことのできる社会を  
作りたいの。

仕事をしたい人には、  
その場所を。

—— 篠原欣子 *Yoshiko Shinohara*



創立50周年記念サイトがオープン [詳しくはこちら](#)

# 事業トピックス： Technology SBU

## G7 群馬高崎デジタル・技術大臣会合

### 「デジタル技術展」に出展

- ・日本の先進技術などを G7各国にアピールすることを目的にパーソルクロステクノロジーも出展
- ・労働人口不足解決のキーとなるロボットやモビリティ、生産性向上のためのソリューション、サービスなどのDX推進事業を紹介



詳しくは[こちら](#)

## 新型モビリティの共同開発

### ～「次世代モビリティのまち体験」に参加～

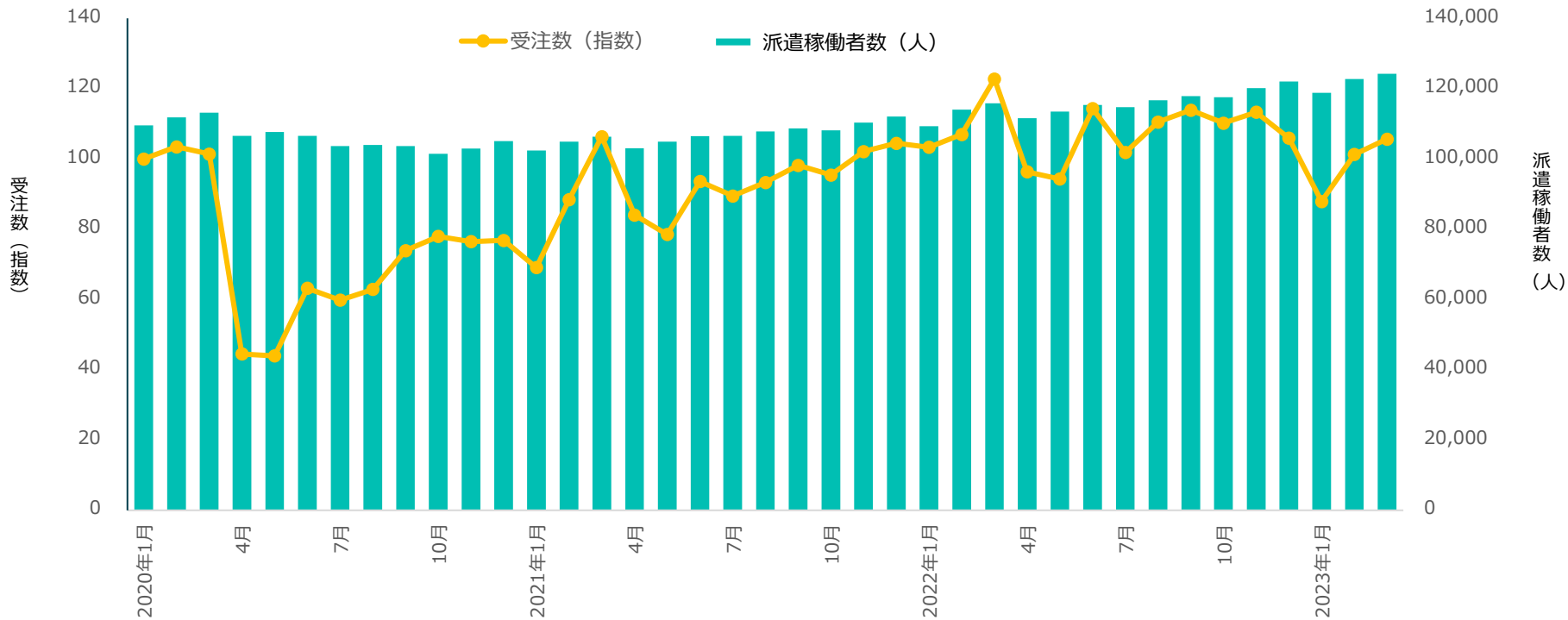
- ・久留米工業大学インテリジェントモビリティ研究所と同大学発ベンチャーのLe DESIGN、パーソルクロステクノロジーの3者が共同で開発した小型自動運転モビリティ、「PARTNER MOBILITY ONE」の試乗会を日本科学未来館で実施



詳しくは[こちら](#)

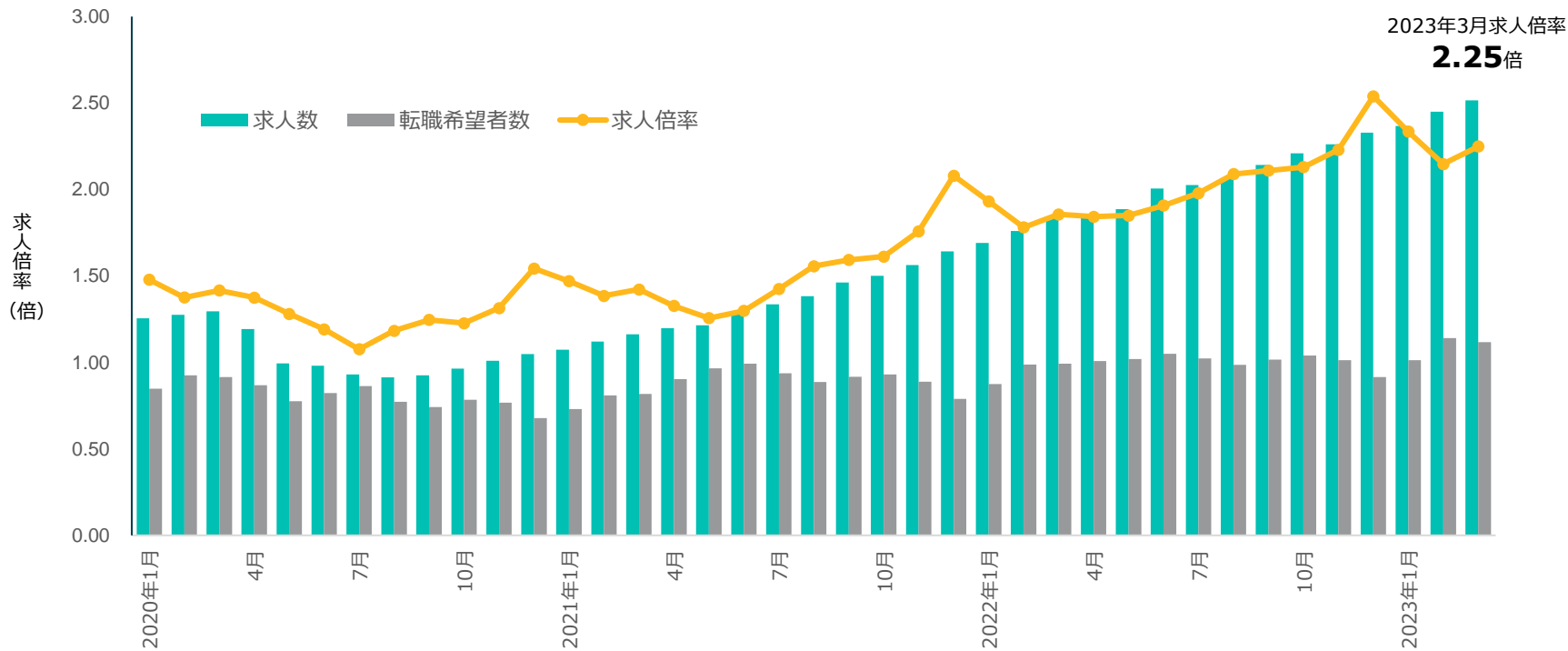
# Staffing SBU 受注数・派遣稼働者数の推移

稼働者派遣者数は、YoY+7.8%で順調に推移



# Career SBU doda転職求人倍率の推移

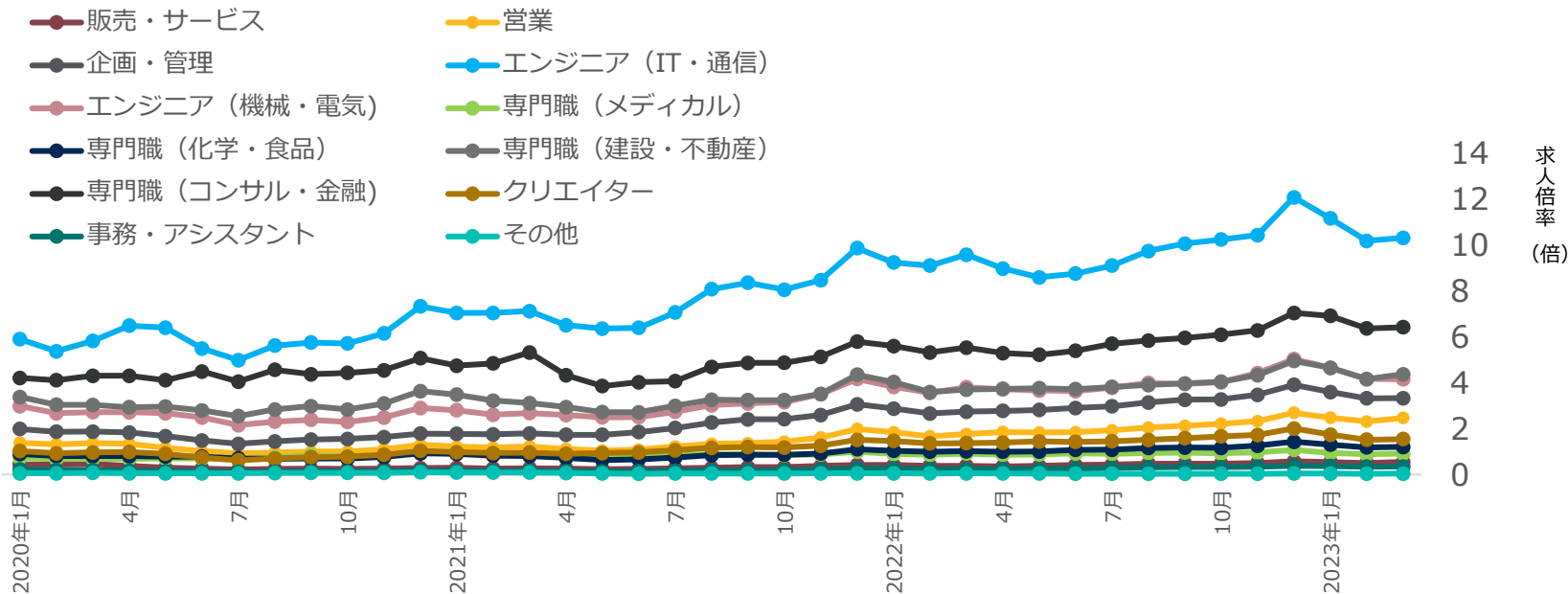
求人数（法人需要）は2020年9月から31ヵ月連続で増加し、2019年4月以降過去最高値を更新中



出所：doda 「転職求人倍率レポート（2023年3月）」  
dodaの会員登録者（転職希望者）1人に対して、中途採用の求人が何件あるかを算出

# 職種別doda転職求人倍率の推移

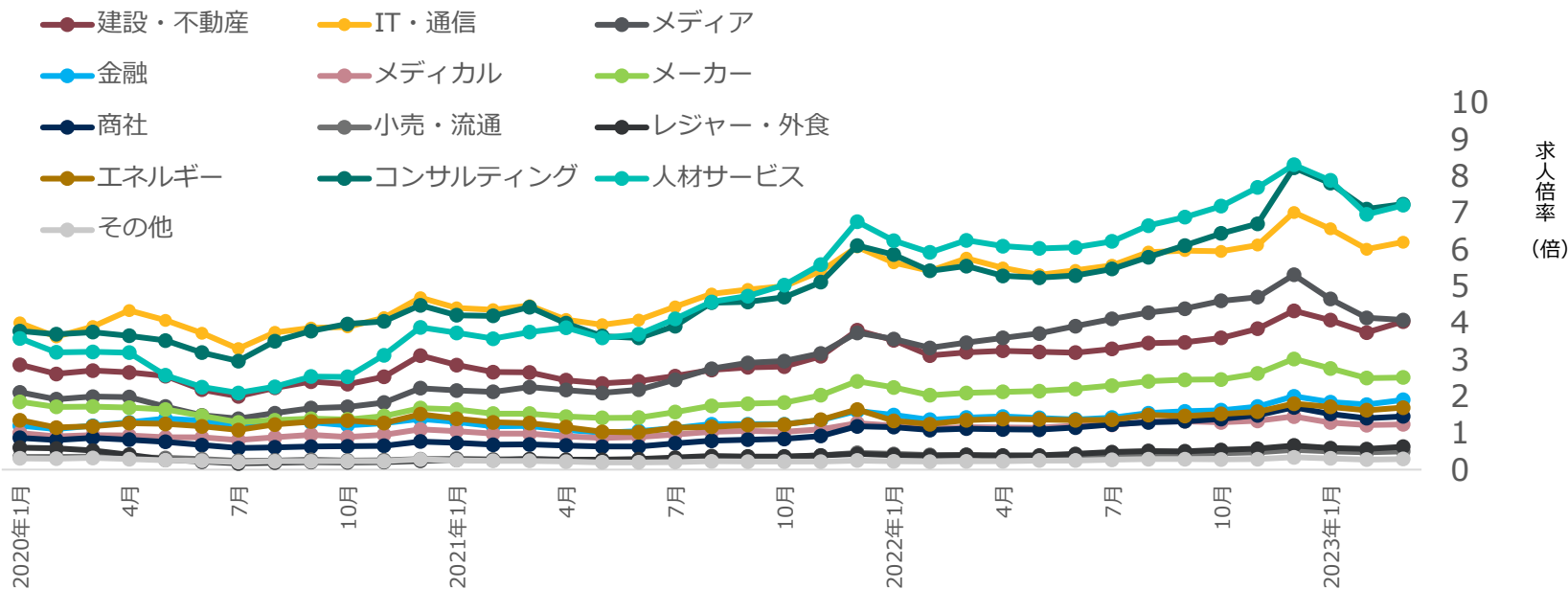
職種別では、エンジニア（IT・通信）の転職求人倍率が特に高い



出所：doda 「転職求人倍率レポート（2023年3月）」

# 業種別doda転職求人倍率の推移

業種別では、人材サービス、コンサルティング、IT・通信の求人倍率が特に高い

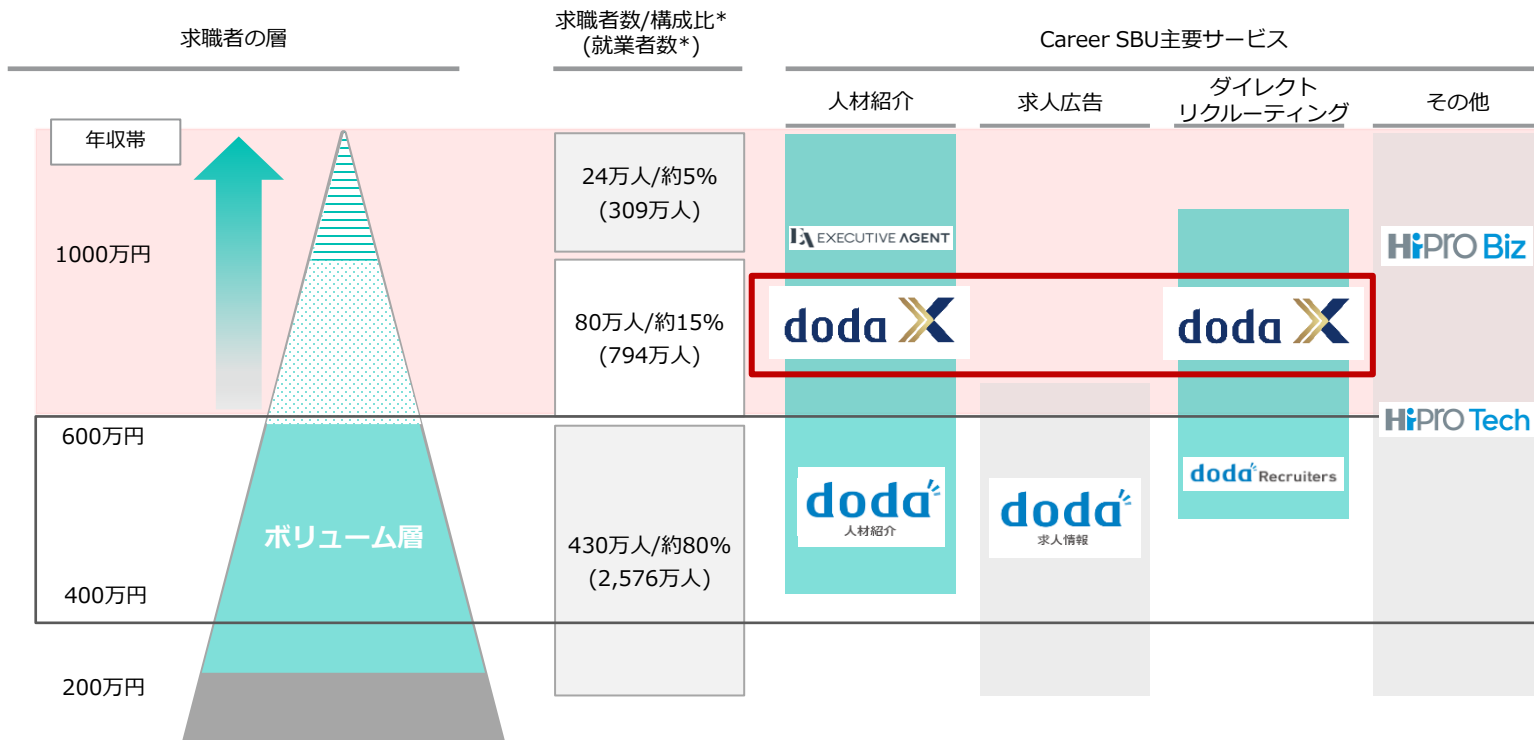


出所：doda 「転職求人倍率レポート（2023年3月）」



# Career SBU 主要サービスのターゲット年収帯

- 代表ブランド「doda」の主要ターゲットは年収帯が400～600万円のボリューム層
- 加えて、2022年10月にリブランドした「doda X」を含む新サービスにて、ハイクラス領域へ裾野拡大



\* パーソルキャリア（株）が2022年に派遣・契約社員を含む会社員、会社役員を対象に実施した市場調査に基づき算出

# 連結

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021				FY2022			
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	246,883	250,432	262,415	267,342	280,703	284,100	302,649	315,317	321,900
YoY	△1.0%	+5.1%	+15.3%	+12.3%	+13.7%	+13.4%	+15.3%	+17.9%	14.7%
営業損益	3,842	12,973	13,474	14,363	7,332	16,495	14,221	14,718	7,626
営業利益率	1.6%	5.2%	5.1%	5.4%	2.6%	5.8%	4.7%	4.7%	2.4%
EBITDA	8,496	17,638	18,121	19,116	12,274	21,978	19,992	20,692	13,753
EBITDA Margin	3.4%	7.0%	6.9%	7.2%	4.4%	7.7%	6.6%	6.6%	4.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,816	8,383	7,001	8,517	8,004	10,301	8,487	8,372	△6,583

# Staffing SBU

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021				FY2022			
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	135,870	137,846	141,507	146,728	149,660	151,432	151,424	158,006	157,618
YoY	+3.8%	+5.5%	+9.2%	+9.4%	+10.1%	+9.9%	+7.0%	7.7%	5.3%
営業損益	4,452	10,428	11,433	10,606	6,892	11,670	10,204	9,808	4,496
営業利益率	3.3%	7.6%	8.1%	7.2%	4.6%	7.7%	6.7%	6.2%	2.9%
EBITDA	5,387	11,370	12,395	11,596	7,991	12,890	11,390	10,985	5,738
EBITDA Margin	4.0%	8.2%	8.8%	7.9%	5.3%	8.5%	7.5%	7.0%	3.6%
稼働日数(日)	60	61	58	61	59	61	59	60	60
稼働者数YoY	-	△1.7%	+4.0%	+6.9%	+8.1%	+8.2%	+8.1%	+8.8%	+7.8%
請求単価YoY	-	+0.4%	+0.5%	+0.5%	+0.7%	+0.9%	+1.1%	+1.1%	+1.2%
稼働時間等YoY	-	+5.1%	+1.4%	△0.3%	+0.1%	△1.1%	△2.8%	△1.4%	△3.1%

# Career SBU

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021				FY2022			
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	16,258	17,602	17,339	18,702	21,635	24,198	24,872	25,996	29,400
YoY	△16.7%	+4.6%	+34.5%	+37.6%	+33.1%	+37.5%	+43.4%	+39.0%	35.9%
営業損益	660	2,063	1,129	1,960	2,110	4,795	3,696	3,422	3,617
営業利益率	4.1%	11.7%	6.5%	10.5%	9.8%	19.8%	14.9%	13.2%	12.3%
EBITDA	1,538	3,002	2,047	2,894	3,089	5,806	4,808	4,519	4,779
EBITDA Margin	9.5%	17.1%	11.8%	15.5%	14.3%	24.0%	19.3%	17.4%	16.3%
求職者新規登録者数 YoY	-	+18.7%	+14.2%	+13.0%	+23.8%	+3.9%	+0.3%	+10.7%	+8.4%

# Professional Outsourcing SBU

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021				FY2022			
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	30,718	28,222	29,526	30,830	32,530	31,177	32,912	33,994	36,000
YoY	+6.5%	+6.8%	+8.2%	+7.5%	+5.9%	+10.5%	+11.5%	10.3%	10.7%
営業損益	1,556	1,214	1,590	2,320	1,809	1,461	2,212	2,188	1,655
営業利益率	5.1%	4.3%	5.4%	7.5%	5.6%	4.7%	6.7%	6.4%	4.6%
EBITDA	1,958	1,589	1,968	2,701	2,193	1,897	2,648	2,627	2,146
EBITDA Margin	6.4%	5.6%	6.7%	8.8%	6.7%	6.1%	8.0%	7.7%	6.0%
エンジニア数 (千人)	-	13.5	13.6	13.7	13.9	14.5	14.7	15.0	15.0

# Solution SBU

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021				FY2022			
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	1,918	2,181	2,773	2,966	3,248	3,502	3,764	3,799	4,368
YoY	△2.5%	+129.0%	+124.1%	+86.1%	+69.3%	+60.5%	+35.7%	+28.1%	34.5%
営業損益	△1,016	△883	△681	△708	△785	△860	△1,216	△725	△1,035
営業利益率	△53.0%	△40.5%	△24.6%	△23.9%	△24.2%	△24.6%	△32.3%	△19.1%	△23.7%
EBITDA	△663	△527	△314	△304	△366	△433	△777	△233	△521
EBITDA Margin	△34.6%	△24.2%	△11.3%	△10.3%	△11.3%	△12.4%	△20.7%	△6.2%	△11.9%

# Asia Pacific SBU

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021				FY2022			
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	64,657	67,306	74,198	71,183	77,451	77,521	93,622	97,615	99,020
YoY	△8.2%	2.0%	26.4%	14.6%	19.8%	15.2%	26.2%	37.1%	27.8%
営業損益	△828	△164	459	9	737	40	251	519	1,705
営業利益率	△1.3%	△0.2%	0.6%	0.0%	1.0%	0.1%	0.3%	0.5%	1.7%
EBITDA	832	1,492	2,139	1,719	2,340	1,734	2,166	2,567	3,681
EBITDA Margin	1.3%	2.2%	2.9%	2.4%	3.0%	2.2%	2.3%	2.6%	3.7%
豪GDP成長率*	△1.1%	1.1%	9.6%	3.9%	4.2%	3.3%	3.6%	5.9%	2.7%
為替 (USD/JPY)	106.8	106.1	107.8	108.6	109.9	116.3	123.1	128.3	131.6
為替 (AUD/JPY)	73.7	81.9	83.1	82.4	82.5	84.2	88.5	90.6	91.1

\* 速報値を記載しています

# その他

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021				FY2022			
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	3,015	3,314	3,028	3,980	3,431	3,897	3,987	5,075	3,943
YoY	+7.5%	+40.2%	+14.0%	+16.1%	+13.8%	17.6%	31.7%	27.5%	14.9%
営業損益	△558	△55	△497	229	△477	△41	△189	460	△936
営業利益率	△18.5%	△1.7%	△16.4%	5.8%	△13.9%	△1.1%	△4.8%	9.1%	△23.8%
EBITDA	△462	54	△381	344	△361	101	△34	687	△756
EBITDA Margin	△15.3%	1.7%	△12.6%	8.7%	△10.5%	2.6%	△0.9%	13.5%	△19.2%



## 調整

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021				FY2022			
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	△5,555	△6,041	△5,958	△7,047	△7,254	△7,629	△7,933	△9,170	△8,452
YoY	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営業損益	△423	371	41	△55	△2,955	△570	△737	△956	△1,875
営業利益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-
EBITDA	△96	657	266	164	△2,613	△18	△208	△461	△1,313
EBITDA Margin	-	-	-	-	-	-	-	-	-

# 当資料取り扱い上の注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が2023年5月15日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

本資料に含まれる数値、指標は、当社グループの経営成績および財政状態に関して、適切な理解を促進する事を目的として開示しており、IFRSベースでの実績値を含むすべての数値、指標が監査法人による監査またはレビューの対象ではない点にご留意ください。